

事務事業名 人形劇のあるまち推進事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1070

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-11-00
基本事業：	04	文化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	芸術文化活動を鑑賞又は参加したことがある市民の割合 児童・生徒を対象とした文化鑑賞に関するイベント参加者数		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
ちくしの人形劇まつり実行委員会			平成15年度のプレ国民文化祭を契機に始めた事業である。人形劇の観劇を通して、子どもたちの感性を育むため、子どもに関する団体や劇団を中心に実行委員会を組織し開催している。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
人形劇に親しみ、特に実際の社会体験を積むことができない就学前の子ども達が劇に入り込むことにより社会経験を積み、豊かな情操を育て、社会規範を身につける。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
人形劇まつり来場者数		人	2,163	2,642	2,500	2,700			2,500	
5. コスト										
事業費		計	千円	789	798	800	800			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	789	798	800	800					
正職員人工数		人工	0.5	0.5	0.5					
正職員人件費		千円	3,998	4,045	4,033					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,787	4,843	4,833	800				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	ちくしの人形劇まつりには多くの親子連れが参加し、人形劇を通じて親子が感動を共有、子どもの豊かな心を育てる場を提供することができた。									
どちらかといえばあがっている	人形劇まつりに継続的に関わってもらえる人を増やすため、声かけする学校や団体を増やしたところ、昨年を上回るボランティア団体の参加があった。									
あがっていない（停滞・低下）	地域公演の支援では、今年度は筑紫南コミュニティーセンターでの公演が開催され、その他行政区からも新たな開催の問い合わせがあっている。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	演じる劇団員、お世話する実行委員ともに高齢化しており、人形劇存続のためには次世代育成が課題となる。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
平成15年度のプレ国民文化祭を契機に始めた事業である。平成17年度以降は県民文化祭の事業として行っているが、県の助成金は平成23年度で終了した。一方、子どもの教育への関心は年々高まり、また、人形劇を文化として根付かせ、地域づくりに活かしていきたいという声がかかれ、その機運が高まりつつある。										